



◆「全国学力・学習状況調査」(6年生対象)の結果

4月23日に実施した「全国学力・学習状況調査」(6年生対象)の結果をお伝えします。この調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、その後の指導の改善や充実に役立てるものです。調査結果を丁寧に分析し、見えてきた強みと課題をよりよい方向へ伸ばしていくために、2学期から具体的な手立てや取組を進めています。

結果概要(平均正答率)は、国語・算数ともに全国値をやや下回る結果でした。国語では、自分の考えが伝わるように書き方を工夫したり、引用して文章をまとめたりする問題に苦戦していました。算数では、割合に関する問題の正答率が低かったことと、資料の中の数と言葉を用いて理由を記述する問題に苦戦していました。これらの結果から、授業で学んだこと考えたことを言語化(書き表そう)する取組を工夫しながら進めていきます。学習のポイントや自分の気づきを進んで書こうとする児童の育成を目指していきます。併せて6年生が行った質問紙調査で、全国値を上回っていた項目のうち、顕著なものは以下の通りでした。

- ・将来の夢や目標を持っている
- ・人が困っているときは、進んで助けている
- ・自分と違う意見について考えるのが楽しい
- ・分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたい
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている



◆失敗はお宝! 挑戦の2学期にしよう!!

2学期始業式には、トーマス・エジソンが電球のフィラメントとして日本の竹を見つけるまでに1万回の実験を積み重ねたお話をしました。そして、「私は失敗したことがない。ただ、うまく行かない方法を1万通り発見しただけだ。」という言葉を紹介しました。

2学期には、日々の学習に加えて、運動会や学習発表会、6年生は陸上記録会など、たくさんの挑戦が待っています。途中でうまくいかないことや、間違えて悔しい思いをすることもあるかもしれませんが、でも、失敗は恥ずかしいことではありません。「うまくいく方法を見つけるためのヒント」を手に入れたということです。エジソンが竹を使って成功を引き寄せたように、子どもたちも失敗を怖がらず、「次はどうやってみようかな?」と工夫しながら楽しんで挑戦してほしいと思います。

◆ 10月の行事予定 ◆

- 1日(木) 後期委員会
- 2日(金) 避難訓練、教育相談日
2年学年P
- 6日(火) 湯郷ベルサッカー教室
- 7日(水) 読み聞かせ(低・中)
真庭科学研究発表会
(本校開催)
- 8日(木) クラブ
3年社会見学
- 15日(木) 委員会
- 16日(金) 社会見学(全学年)
- 21日(水) さつまいもほり
(1~3年)
EM菌投入(4~6年)
- 23日(金) 久世P連講演会
(遷喬小13:35)
- 30日(金) 真庭支部陸上記録会
(遷喬小12:40)
教育相談日

『なかまとつなぐ きずなのバトン』～運動会に向けて～

さて、いよいよ子どもたちが心待ちにしている運動会の季節がやってまいりました。校庭からは元気に声を掛け合う子どもたちの姿や、真剣に練習に取り組む熱気が毎日伝わってきます。

今年度の運動会スローガンは、「なかまとつなぐ きずなのバトン」に決定いたしました。先日、このスローガンを考案してくれた6年女子児童に「どんなイメージや想いを込めたの？」と聞いてみました。すると、彼女はまっすぐな目で次のように語ってくれました。

「協力して勝利を目指すことも大切だけど、勝つこと以上に大切なものをみんなで感じてほしい。」この言葉を聞いたとき、私は胸が熱くなりました。勝利を目指して全力を尽くすことはもちろん素晴らしいことです。しかしそれ以上に、仲間と声を掛け合い、励まし合いながら一つのゴールを目指す過程のなかにこそ、互いを思いやる優しさや最後まで諦めない心、そして目に見えない「きずな」という大切な宝物が育まれます。

運動会当日は、子どもたち一人ひとりがこの「きずなのバトン」をしっかりと胸に抱き、キラキラと輝く姿を見せてくれることと確信しております。教職員一同、安全で思い出深い運動会となるよう全力でサポートしてまいります。皆様の温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

日時：令和8年9月26日（土） 8:30 開会

※雨天の場合は9月27日（日）に順延いたします。



🌻 ひまわりが育む「命の輪」と「思いやりの心」 🌻

7月上旬、太陽に向かって真っ直ぐに大きな黄色い花を咲かせていた畑のひまわり。PTA奉仕作業で刈り取っていただいたひまわりの頭から種を取る作業を行いました。

ぎっしりと実ったたくさんの種を一つひとつ丁寧に手にとりながら、子どもたちは小さな種に秘められた生命力の強さを肌で感じている様子でした。一粒の種から大きな花が咲き、そこからまた次の新しい命（種）が生まれる——。子どもたちにとって、命の循環や自然の不思議さを実感する素晴らしい体験となりました。

そして今年も、みんなで大切に育て、収穫したひまわりの種を、11月20日（金）に6年生が学校の代表として「池田動物園」へ届けに行き、贈呈式を行います。集めた種は、動物園の動物たちの健やかな成長を支える大切な餌として役立てていただく予定です。自分たちの手で育てたものが、地域の動物たちの命へとつながっていく。そして、下級生みんなの思いを胸に、学校の代表としてしっかりと届けてくれる6年生の頼もしい姿を楽しみにしています。

